

No	総合戦略関連分野	認定地域再生計画の名称	交付対象事業名	事業期間	事業概要	交付金額(千円)						重要業績評価指標(KPI)													達成度合い			地方創生への効果(自己評価)	今後の事業展開						
						2017年度(H29年度)		2018年度(H30年度)		2019年度(R元年度)		2020年度(R2年度)		2021年度(R3年度)		2022年度(R4年度)		重要業績評価指標(KPI)													達成度合い				
						交付決定額	重要業績評価指標(KPI)														達成度合い														
						実績額	重要業績評価指標(KPI)														達成度合い														
名称	単位	当初値(事業開始時)	重要業績評価指標(KPI)													達成度合い																			
			2016年度(H28年度)		2017年度(H29年度)		2018年度(H30年度)		2019年度(R元年度)		2020年度(R2年度)		2021年度(R3年度)		2022年度(R4年度)		2023年度(R5年度)		2024年度(R6年度)		2025年度(R7年度)		増分の累計	目標値(R4増分まで累計)	実績値(R4増分まで累計)	達成度合い									
			目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	達成度合い														
実績値(R4増分まで累計)	実績値(R4増分まで累計)	実績値(R4増分まで累計)	実績値(R4増分まで累計)	実績値(R4増分まで累計)	実績値(R4増分まで累計)	実績値(R4増分まで累計)	実績値(R4増分まで累計)	実績値(R4増分まで累計)	実績値(R4増分まで累計)	実績値(R4増分まで累計)	実績値(R4増分まで累計)	実績値(R4増分まで累計)	実績値(R4増分まで累計)	実績値(R4増分まで累計)	実績値(R4増分まで累計)	実績値(R4増分まで累計)	実績値(R4増分まで累計)	実績値(R4増分まで累計)	達成度合い																
5	②	長崎本線沿線地域の魅力づくりと人の流れの創出プロジェクト	長崎本線沿線地域の魅力づくりと人の流れの創出プロジェクト	R2 R4	長崎本線沿線地域は、「和の真髓が詰まった伝統的な街並み」や「日本酒などの発酵文化」、「海苔やカキ、レンコンやみかんなどの豊富な農水産物」など多様な地域資源を有する地域である。各地域が連携することで魅力ある一体的な観光エリアを形成するため、1年目は交流拠点である肥前浜駅を有する唐島市において取組を進め、2年目以降は唐島市をモデルケースとして、他の地域の取組へとつなげる。 (構成事業) ・長崎本線沿線地域振興事業費【交通政策課】 ・新幹線活用推進費【交通政策課】	16,981	25,751	13,364	KPI1	千人	4,954	5,028	5,109	5,190	5,271	5,352	+	398	+	236	④目標値の達成は5割未満	①外的要因	①自然災害等	新型コロナウイルスの感染拡大により、観光客が減少したため。	①地方創生に非常に効果的であった	①事業の継続(計画通りに事業を継続する)									
									KPI2	千円	5,650,664	5,735,414	5,828,414	5,921,414	6,014,414	6,107,414	+	456,750	+	270,750	④目標値の達成は5割未満														
									KPI3	件	0	5	11	17	22	27	+	27	+	17	①目標値を達成														
									KPI4	本	6	7	8	18	19	21	+	15	+	12	①目標値を達成														
									KPI5	件	114	134	154	174	+	60	+	60	①目標値を達成																
6	①	プロフェッショナル人材戦略拠点事業	プロフェッショナル人材戦略拠点事業(第2期)	R2 R4	プロフェッショナル人材戦略マネージャーを配置し、潜在的な成長力を持つ県内中小企業の経営者に対し「攻めの経営」への転換を促しつつ、民間人材ビジネス事業者と連携し、中小企業者と都市部のプロフェッショナル人材とのマッチング支援を行う。 また、「業業・副業」という、佐賀県では従来ほとんど見られなかった人材活用形態についてのニーズ発掘、マッチング支援を実施するため、体制を拡充し、当該案件に係る特任マネージャーを配置する。 (構成事業) ・プロフェッショナル人材戦略拠点事業費【産業企画課】	21,355	21,787	20,600	KPI1	件	114	134	154	174	+	60	+	60	①目標値を達成	①外的要因	①自然災害等	長引く新型コロナウイルスの感染拡大により、移動を伴う副業・兼業人材の活用が行われなくなったため。また、新型コロナウイルスの影響によりテレワークが社会に浸透し、移動を伴わない副業・兼業の形が増加したため。	①地方創生に非常に効果的であった	①事業の継続(計画通りに事業を継続する)											
									KPI2	件	573	683	813	933	+	360	+	360	①目標値を達成																
									KPI3	件	0	3	8	13	+	13	+	13	④目標値の達成は5割未満																
									KPI4	件	0	1	1	1	+	1	+	1	④目標値の達成は5割未満																
									KPI5	件	114	156	204	262	+	148	+	148	①目標値を達成																
7	①	デジタルトランスフォーメーションによるSAGAイノベーションプロジェクト	デジタルトランスフォーメーションによるSAGAイノベーションプロジェクト	R3 R5	県内企業によるDXの推進やスタートアップの発掘・育成を通じて、イノベーションの推進やビジネスの創出を促すため、産業DXの視野の拡大とその担い手の育成・確保及び起業やイノベーションを通じたビジネスの創出・確立に取り組む。 (構成事業) ・産業DX啓発推進事業【DX・スタートアップ推進室】 ・さがSociety5.0推進事業【政策チーム】 ・プログラミング人材拡大推進事業【DX・スタートアップ推進室】 ・Startupの聖地SAGA推進事業【DX・スタートアップ推進室】 ・トライアル・マッチング事業【DX・スタートアップ推進室】 ・資金調達支援事業【DX・スタートアップ推進室】	103,249	119,537	113,644	KPI1	件	1,500	3,500	6,200	9,320	+	7,820	+	4,700	①目標値を達成	①外的要因	①自然災害等	長引く新型コロナウイルスの感染拡大により、移動を伴う副業・兼業人材の活用が行われなくなったため。また、新型コロナウイルスの影響によりテレワークが社会に浸透し、移動を伴わない副業・兼業の形が増加したため。	①地方創生に非常に効果的であった	②事業の発展(事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる)											
									KPI2	件	2	4	6	8	+	6	+	4	①目標値を達成																
									KPI3	人	100	300	500	700	+	600	+	400	①目標値を達成																
									KPI4	件	16	38	66	96	+	80	+	50	①目標値を達成																
									KPI5	件	100	300	500	700	+	600	+	400	①目標値を達成																

地方創生拠点整備交付金事業の重要業績評価指標(KPI)の達成状況

No	総合戦略関連分野	認定地域再生計画の名称	計画期間	拠点整備交付金交付対象事業名	事業期間	事業概要	交付決定額					重要業績評価指標(KPI)												達成度合い				地方創生への効果(自己評価)	今後の事業展開																	
							H29-H30	H30-H31	R1-R2	R2-R3	R3-R4	2016年度(H29年度)から2022年度(H30年度)までの実績												事業開始から2022年度まで(事業開始からR4年度まで)(R5.3時点)																						
							交付決定額	交付決定額	交付決定額	交付決定額	交付決定額	2016年度(H29年度)から2022年度(H30年度)までの実績												事業開始から2022年度まで(事業開始からR4年度まで)(R5.3時点)																						
							実績額	実績額	実績額	実績額	実績額	2016年度(H29年度)から2022年度(H30年度)までの実績												事業開始から2022年度まで(事業開始からR4年度まで)(R5.3時点)																						
1	① 佐賀の強みを生かした「いちご」の所得向上・人材育成プロジェクト	H30 H34	佐賀の強みを生かした「いちご」の所得向上・人材育成拠点整備事業	H29 H30	いちご新品種、労働力調整を担うパッケージセンターという佐賀の強みを生かし、生産性革命にもつながるハウス内環境の見え化について県内に普及させる技術員の技術力向上を行うとともに、就業希望者に対してその技術習得から就業(農地・施設の確保など)までを切れ目なくサポートを行う技術力向上・就業研修拠点施設(トレーニングファーム)を整備する。	KPI①	いちご新品種導入やハウス内環境の見え化などに取り組み、収量10%向上を達成するいちご生産農家数(累計)	戸	0	50,317	2	4	6	8	10	+2	+2	+2	+2	+2	+10	+10	①目標値を達成																							
																											KPI②	本事業を含む新規就業確保・育成対策により確保した新規就業農家数	人/年	103	180	180	180	180	180	+77	+0	+0	+0	+0	+77	+77	②目標値の7割以上達成	①外的要因	②景気の動向・経済情勢の変化	新規参入は増加したが、リターン就業が大きく減少したため。
KPI①	環境制御技術を導入し、収量を10%以上向上させるトマト生産者数(累計)	戸	0	0	0	5	7	8	+0	+0	+5	+2	+1	+8	+8	③目標値の5割以上達成	①外的要因	⑦その他	天候不順による生育不良や、病害虫の発生による減収等のため。																											
																				KPI②	本事業を含む新規就業確保・育成対策により、確保した新規就業農家数	人/年	103	176	176	176	176	176	+73	+0	+0	+0	+0	+73	+73	②目標値の7割以上達成	①外的要因	②景気の動向・経済情勢の変化	新規参入者は増加したが、リターン就業が大きく減少したため。							
																																								KPI③	KPI②のうち、この研修拠点で研修し、佐賀に移住・定住し、就業する人(累計)	人	0	0	0	2
KPI①	「佐賀牛」の生産基盤の強化を図るため、ICT・IoTツールを活用した誰にでも簡単にできる省力的な飼養管理技術等を新たに開発するための研究拠点となる施設を整備する。また、開発した技術を農業改良普及員や農業団体の技術員を通して生産現場に普及させることにより、肥育牛飼養農家が繁殖部門を導入して自ら肥育素牛を生産する繁殖肥育一貫経営の取組を進め、肥育素牛の安定確保による経営改善や牛のストレス軽減による肉質向上などを図り、産業所得の向上や地域における雇用の増大を実現させ、地域活性化につなげる。	%	58.40	58.40	61.00	64.00	67.00	70.00	+0.00	+2.60	+3.00	+3.00	+3.00	+11.60	+11.60	①目標値を達成																														
																				KPI②	飼養管理に係る労働時間の短縮率	%	0.00	0.00	0.00	10.00	15.00	20.00	+0.00	+0.00	+10.00	+5.00	+5.00	+20.00	+20.00	①目標値を達成										
																																								KPI③	肥育素牛の県内自給率	%	25.80	25.80	26.52	27.24
KPI①	県内のイチゴの産出額	億円	74.3	74.3	80.7	87.9	96.9	106.8	+0.0	+6.4	+7.2	+9.0	+9.9	32.50	22.60	④目標値の達成は5割未満	①外的要因	④高齢化・人口減少	高齢化により生産戸数が約14%減、面積が約20%減																											
																				KPI②	イチゴの単位面積当たり収量	kg/a	410	410	450	500	550	600	+0	+40	+50	+50	+50	+190	+140	④目標値の達成は5割未満	①外的要因	①自然災害等	9月の高温乾燥による生育停滞、10月の高温による花芽分化遅れ、12月の低温による収穫遅れ							
																																								KPI①	「佐賀牛」の出荷頭数割合	%	58.40	58.40	61.00	64.00
KPI②	飼養管理に係る労働時間の短縮率	%	0.00	0.00	0.00	10.00	15.00	20.00	+0.00	+0.00	+10.00	+5.00	+5.00	+20.00	+20.00	①目標値を達成																														
																				KPI③	肥育素牛の県内自給率	%	25.80	25.80	26.52	27.24	27.96	28.68	+0.00	+0.72	+0.72	+0.72	+0.72	2.88	2.88	①目標値を達成										
																																								KPI①	県内のイチゴの産出額	億円	74.3	74.3	80.7	87.9
KPI②	イチゴの単位面積当たり収量	kg/a	410	410	450	500	550	600	+0	+40	+50	+50	+50	+190	+140	④目標値の達成は5割未満	①外的要因	①自然災害等	9月の高温乾燥による生育停滞、10月の高温による花芽分化遅れ、12月の低温による収穫遅れ																											
																				KPI①	「佐賀牛」の出荷頭数割合	%	58.40	58.40	61.00	64.00	67.00	70.00	+0.00	+2.60	+3.00	+3.00	+3.00	+11.60	+11.60	①目標値を達成										
																																								KPI②	飼養管理に係る労働時間の短縮率	%	0.00	0.00	0.00	10.00
KPI③	肥育素牛の県内自給率	%	25.80	25.80	26.52	27.24	27.96	28.68	+0.00	+0.72	+0.72	+0.72	+0.72	2.88	2.88	①目標値を達成																														
																				KPI①	県内のイチゴの産出額	億円	74.3	74.3	80.7	87.9	96.9	106.8	+0.0	+6.4	+7.2	+9.0	+9.9	32.50	22.60	④目標値の達成は5割未満	①外的要因	④高齢化・人口減少	高齢化により生産戸数が約14%減、面積が約20%減							
																																								KPI②	イチゴの単位面積当たり収量	kg/a	410	410	450	500
KPI①	「佐賀牛」の出荷頭数割合	%	58.40	58.40	61.00	64.00	67.00	70.00	+0.00	+2.60	+3.00	+3.00	+3.00	+11.60	+11.60	①目標値を達成																														
																				KPI②	飼養管理に係る労働時間の短縮率	%	0.00	0.00	0.00	10.00	15.00	20.00	+0.00	+0.00	+10.00	+5.00	+5.00	+20.00	+20.00	①目標値を達成										
																																								KPI③	肥育素牛の県内自給率	%	25.80	25.80	26.52	27.24
KPI①	県内のイチゴの産出額	億円	74.3	74.3	80.7	87.9	96.9	106.8	+0.0	+6.4	+7.2	+9.0	+9.9	32.50	22.60	④目標値の達成は5割未満	①外的要因	④高齢化・人口減少	高齢化により生産戸数が約14%減、面積が約20%減																											
																				KPI②	イチゴの単位面積当たり収量	kg/a	410	410	450	500	550	600	+0	+40	+50	+50	+50	+190	+140	④目標値の達成は5割未満	①外的要因	①自然災害等	9月の高温乾燥による生育停滞、10月の高温による花芽分化遅れ、12月の低温による収穫遅れ							
																																								KPI①	「佐賀牛」の出荷頭数割合	%	58.40	58.40	61.00	64.00
KPI②	飼養管理に係る労働時間の短縮率	%	0.00	0.00	0.00	10.00	15.00	20.00	+0.00	+0.00	+10.00	+5.00	+5.00	+20.00	+20.00	①目標値を達成																														
																				KPI③	肥育素牛の県内自給率	%	25.80	25.80	26.52	27.24	27.96	28.68	+0.00	+0.72	+0.72	+0.72	+0.72	2.88	2.88	①目標値を達成										
																																								KPI①	県内のイチゴの産出額	億円	74.3	74.3	80.7	87.9
KPI②	イチゴの単位面積当たり収量	kg/a	410	410	450	500	550	600	+0	+40	+50	+50	+50	+190	+140	④目標値の達成は5割未満	①外的要因	①自然災害等	9月の高温乾燥による生育停滞、10月の高温による花芽分化遅れ、12月の低温による収穫遅れ																											
																				KPI①	「佐賀牛」の出荷頭数割合	%	58.40	58.40	61.00	64.00	67.00	70.00	+0.00	+2.60	+3.00	+3.00	+3.00	+11.60	+11.60	①目標値を達成										
																																								KPI②	飼養管理に係る労働時間の短縮率	%	0.00	0.00	0.00	10.00
KPI③	肥育素牛の県内自給率	%	25.80	25.80	26.52	27.24	27.96	28.68	+0.00	+0.72	+0.72	+0.72	+0.72	2.88	2.88	①目標値を達成																														
																				KPI①	県内のイチゴの産出額	億円	74.3	74.3	80.7	87.9	96.9	106.8	+0.0	+6.4	+7.2	+9.0	+9.9	32.50	22.60	④目標値の達成は5割未満	①外的要因	④高齢化・人口減少	高齢化により生産戸数が約14%減、面積が約20%減							
																																								KPI②	イチゴの単位面積当たり収量	kg/a	410	410	450	500
KPI①	「佐賀牛」の出荷頭数割合	%	58.40	58.40	61.00	64.00	67.00	70.00	+0.00	+2.60	+3.00	+3.00	+3.00	+11.60	+11.60	①目標値を達成																														
																				KPI②	飼養管理に係る労働時間の短縮率	%	0.00	0.00	0.00	10.00	15.00	20.00	+0.00	+0.00	+10.00	+5.00	+5.00	+20.00	+20.00	①目標値を達成										
																																								KPI③	肥育素牛の県内自給率	%	25.80	25.80	26.52	27.24
KPI①	県内のイチゴの産出額	億円	74.3	74.3	80.7	87.9	96.9	106.8	+0.0	+6.4	+7.2	+9.0	+9.9	32.50	22.60	④目標値の達成は5割未満	①外的要因	④高齢化・人口減少	高齢化により生産戸数が約14%減、面積が約20%減																											
																				KPI②	イチゴの単位面積当たり収量	kg/a	410	410	450	500	550	600	+0	+40	+50	+50	+50	+190	+140	④目標値の達成は5割未満	①外的要因	①自然災害等	9月の高温乾燥による生育停滞、10月の高温による花芽分化遅れ、12月の低温による収穫遅れ							
																																								KPI①	「佐					

地方創生拠点整備交付金事業の重要業績評価指標(KPI)の達成状況

no	総合戦略関連分野	認定地域再生計画の名称	計画期間	拠点整備交付金交付対象事業名	事業期間	事業概要	H29→H30					H30→H31					R1→R2					R2→R3					R3→R4					重要業績評価指標(KPI)												達成度合い				地方創生への効果(自己評価)	今後の事業展開
							交付決定額					交付決定額					交付決定額					交付決定額					交付決定額					2016年度(H29年度)～2022年度(R4年度)												事業開始から2022年度まで(事業開始からR4年度まで)(R5.3時点)					
							実績額					実績額					実績額					実績額					実績額					目標値												実績値(R4増分まで累計)の達成度合い					
							実績額					実績額					実績額					実績額					実績額					増分の累計												実績値(R4増分まで累計)の達成度合い					
8	①	ICTを活用した「佐賀牛」の生産教育施設整備事業	R4 R8	ICTを活用した「佐賀牛」の生産教育施設整備事業	R3 R4	農業大学校に新しいモデル牛舎一式を建設し、大型作業機械やICT機器を活用した省力化と温暖化による夏場の高温事故防止、近年問題となっている家畜伝染病予防に対応した新たな和牛繁殖及び肥育の高度な飼養管理技術を実証し、繁殖農家、肥育農家、関係機関への情報発信とセミナーを通して、繁殖農家の規模拡大や肥育農家の繁殖肥育一貫経営への移行を促すことで所得向上と経営安定化を図る。これにより「佐賀牛」のブランド力の維持強化及び農村地域における雇用増など農業を中心とした好循環を目指す。	/					/					/					/					/					2022年度(R4年度)実績値												②目標値の7割以上達成				②地方創生に相当程度効果があった	①事業の継続(計画通りに事業を継続する)
							149,995					KPI①					肥育素牛の県内自給率					%					29.60					29.60, 30.06, 30.52, 30.98, 31.44												+ 1.84, + 0.00					
							/					/					/					/					/					2023年度(R5年度)実績値												①目標値を達成					
							/					/					/					/					/					2024年度(R6年度)実績値												+ 0.00, + 1.20, + 1.20, + 1.20, + 1.20					
							/					/					/					/					/					2025年度(R7年度)実績値												2.30					
							/					/					/					/					/					2026年度(R8年度)実績値												2.30					
							/					/					/					/					/					2027年度(R9年度)実績値												2.30					
							/					/					/					/					/					2028年度(R10年度)実績値												2.30					
							/					/					/					/					/					2029年度(R11年度)実績値												2.30					
							/					/					/					/					/					2030年度(R12年度)実績値												2.30					
							/					/					/					/					/					2031年度(R13年度)実績値												2.30					
							/					/					/					/					/					2032年度(R14年度)実績値												2.30					
							/					/					/					/					/					2033年度(R15年度)実績値												2.30					
							/					/					/					/					/					2034年度(R16年度)実績値												2.30					
							/					/					/					/					/					2035年度(R17年度)実績値												2.30					
							/					/					/					/					/					2036年度(R18年度)実績値												2.30					
							/					/					/					/					/					2037年度(R19年度)実績値												2.30					
							/					/					/					/					/					2038年度(R20年度)実績値												2.30					
							/					/					/					/					/					2039年度(R21年度)実績値												2.30					
							/					/					/					/					/					2040年度(R22年度)実績値												2.30					
							/					/					/					/					/					2041年度(R23年度)実績値												2.30					
							/					/					/					/					/					2042年度(R24年度)実績値												2.30					
							/					/					/					/					/					2043年度(R25年度)実績値												2.30					
							/					/					/					/					/					2044年度(R26年度)実績値												2.30					
							/					/					/					/					/					2045年度(R27年度)実績値												2.30					
							/					/					/					/					/					2046年度(R28年度)実績値												2.30					
							/					/					/					/					/					2047年度(R29年度)実績値												2.30					
							/					/					/					/					/					2048年度(R30年度)実績値												2.30					
							/					/					/					/					/					2049年度(R31年度)実績値												2.30					
							/					/					/					/					/					2050年度(R32年度)実績値												2.30					
							/					/					/					/					/					2051年度(R33年度)実績値												2.30					
							/					/					/					/					/					2052年度(R34年度)実績値												2.30					
							/					/					/					/					/					2053年度(R35年度)実績値												2.30					
							/					/					/					/					/					2054年度(R36年度)実績値												2.30					
							/					/					/					/					/					2055年度(R37年度)実績値												2.30					
							/					/					/					/					/					2056年度(R38年度)実績値												2.30					
							/					/					/					/					/					2057年度(R39年度)実績値												2.30					
							/					/					/					/					/					2058年度(R40年度)実績値												2.30					
							/					/					/					/					/					2059年度(R41年度)実績値												2.30					
							/					/					/					/					/					2060年度(R42年度)実績値												2.30					
							/					/					/					/					/					2061年度(R43年度)実績値												2.30					
							/					/					/					/					/					2062年度(R44年度)実績値												2.30					
							/					/					/					/					/					2063年度(R45年度)実績値												2.30					
							/					/					/					/					/					2064年度(R46年度)実績値												2.30					
							/					/					/					/					/					2065年度(R47年度)実績値												2.30					
							/					/					/					/					/					2066年度(R48年度)実績値												2.30					
							/					/					/					/					/					2067年度(R49年度)実績値												2.30					
							/					/					/					/					/					2068年度(R50年度)実績値												2.30					
							/					/					/					/					/					2069年度(R51年度)実績値												2.30					
							/					/					/					/					/					2070年度(R52年度)実績値												2.30					
							/					/					/					/					/					2071年度(R53年度)実績値												2.30					
							/					/					/					/					/					2072年度(R54年度)実績値												2.30					
							/					/					/					/					/					2073年度(R55年度)実績値												2.30					
							/					/					/					/					/					2074年度(R56年度)実績値												2.30					
							/					/					/					/					/					2075年度(R57年度)実績値												2.30					
							/					/					/					/					/					2076年度(R58年度)実績値												2.30					
							/					/					/					/					/					2077年度(R59年度)実績値												2.30					
							/					/					/					/					/					2078年度(R60年度)実績値												2.30					
							/					/					/					/					/					2079年度(R61年度)実績値												2.30					
							/					/					/					/					/					2080年度(R62年度)実績値												2.30					
							/					/					/					/					/					2081年度(R63年度)実績値												2.30					
							/					/					/					/					/					2082年度(R64年度)実績値												2.30					
							/					/					/					/					/					2083年度(R65年度)実績値												2.30					
							/					/					/					/					/					2084年度(R66年度)実績値												2.30					
							/					/					/					/					/					2085年度(R67年度)実績値												2.30					
							/					/					/					/					/					2086年度(R68年度)実績値												2.30					
							/					/					/					/					/					2087年度(R69年度)実績値												2.30					
							/					/					/					/					/					2088年度(R70年度)実績値												2.30					
							/					/					/					/					/					2089年度(R71年度)実績値												2.30					
							/					/					/					/					/					2090年度(R72年度)実績値												2.30					
							/					/					/					/					/					2091年度(R73年度)実績値												2.30					
							/					/					/					/					/					2092年度(R74年度)実績値												2.30					
							/					/					/					/					/					2093年度(R75年度)実績値												2.30					
							/					/					/					/					/					2094年度(R76年度)実績値												2.30					
							/					/					/					/					/					2095年度(R77年度)実績値												2.30					
							/					/					/					/					/					2096年度(R78年度)実績値												2.30					
							/					/					/					/					/					2097年度(R79年度)実績値												2.30					
							/					/					/					/					/					2098年度(R80年度)実績値												2.30					
							/					/					/					/					/					2099年度(R81年度)実績値												2.30					
							/					/					/					/					/					2100年度(R82年度)実績値												2.30					

【事業効果(自己評価)】		7
①地方創生に非常に効果的であった	例)全てのKPIの目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合	1
②地方創生に相当程度効果があった	例)一部のKPIの目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合	4
③地方創生に効果があった	例)KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合	1
④地方創生に対して効果がなかった	例)KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言えない場合	1

【今後の事業展開】		7
①事業の継続(計画通りに事業を継続する)		7
②事業の発展(事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる)		0
③事業の改善(事業の効果が不十分であったことから見直し(改善)を行う)		0
④事業の中止(継続的な事業実施を予定していたが中止する)		0
⑤事業の終了(当初予定通り事業を終了する)		0

no	交付対象事業名	事業期間	事業概要	交付金額(千円)		重要業績評価指標(KPI)						達成度合い				今後の事業展開								
				2022年度(R4年度)	交付決定額	名称	単位	当初値(事業開始時)	2022年度(R4年度)(R5.3時点)	2023年度(R5年度)(R6.3時点)	2024年度(R6年度)(R7.3時点)	増分の累計	事業開始から2022年度まで(事業開始からR4年度まで)(R5.3時点)											
				実績額	目標値				目標値	目標値	目標値(R4増分まで累計) 実績値(R4増分まで累計)		目標値未達理由	左で「①外的要因」を選択した場合、その内容										
				実績値	実績値	実績値	実績値(R4増分)	実績値(R5増分)	実績値(R6増分)	実績値(増分累計)		実績値(R4増分まで累計)		左の具体的な内容										
				実績値(R4増分)	実績値(R5増分)	実績値(R6増分)	実績値(増分累計)	実績値(R4増分まで累計)																
1	工業技術センターDX推進事業	R4	<p>工業技術センターは佐賀市に位置し、半径約60kmに及ぶ佐賀県全域の製造業に対して、技術サービス事業を展開している佐賀県立の工業系試験研究機関である。県内の製造業の将来を見据えて新しい技術の開発を目指す研究に積極的に取組むとともに、製品の不良や不具合問題、品質管理、生産技術の維持など、製造業の現場で日常的に発生する技術課題の解決のために、技術相談や試験分析等の技術支援に取り組んでいる。また、技術研究会や技術講習会、高度な試験分析機器の見学会・操作説明会等を実施して、技術者の育成や技術力向上を図っている。</p> <p>これらの技術サービス事業は、これまでは、県内製造業からの来所を前提として実施してきたものであるが、今後は、都市部に負けない地方都市の実現に向けて、工業技術センターのDXを推進して、デジタル原則を遵守し、県内製造業の技術者が来所することなく、リモートから、誰もがいつでも、どこからでも技術サービスを受けられる体制を構築する。</p> <p>具体的には、工業技術センター内に高速ネットワーク回線や動画配信システム及び監視カメラ等を整備し、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リモートで技術相談や試験分析を依頼、実施できる ・リモートで高度な試験機器の利用方法を事前に学習でき、企業の製品開発に機器を活用できる ・リモートで研究会、技術講習会等をいつでも、どこでも、繰り返し聴講できる <p>体制を構築する。</p>	16,764	KPI①	リモートによる技術相談・試験分析の件数	件	0	60	120	180			④目標値の達成は5割未満	③その他	新型コロナウイルス感染防止の観点から、オンラインによる相談は2020年度が最も多く、2022年度はウィズコロナの状況となり、企業との往来が緩和し減少傾向が続いている。この状況から、改めて2023年度末に計測を行う予定。								
									+ 60	+ 60	+ 60	+ 180	+ 60											
									16	-	-													
									+ 16	-	-	+ 16	+ 16											
									30	60	90						④目標値の達成は5割未満	③その他	2023年3月下旬に、保有する試験研究機器等に関し13機種の操作説明動画と3機種の操作説明マニュアルを公開した。公開期間が短くKPIは未達であるが、改めて2023年度に、県内企業等への周知活動を実施した上で計測を行う予定。					
									+ 30	+ 30	+ 30	+ 90	+ 30											
				10	-	-																		
				+ 10	-	-	+ 10	+ 10																
				13,117	KPI③	来所に要する移動時間の削減効果	時間	0	60	120	180			②目標値の7割以上達成	③その他	未達ではあるものの、工業技術センターの技術サービスの一部に企業が来所せずに活用できる環境が整った。改めて2023年度に、県内企業等への周知活動を実施した上で計測を行う予定。								
									+ 60	+ 60	+ 60	+ 180	+ 60											
									57	-	-													
									+ 57	-	-	+ 57	+ 57											
									13,117	KPI④	機器利用方法の説明を受ける時間の短縮効果	時間	0				60	120	180			④目標値の達成は5割未満	③その他	2023年3月下旬に、保有する試験研究機器等に関し13機種の操作説明動画と3機種の操作説明マニュアルを公開した。公開期間が短くKPIは未達であるが、改めて2023年度に、県内企業等への周知活動を実施した上で計測を行う予定。
																	+ 60	+ 60	+ 60	+ 180	+ 60			
				20	-	-																		
				+ 20	-	-	+ 20	+ 20																
				13,117	KPI⑤	工業技術センターの技術サービスに対する満足度	%	0						50	60	70			④目標値の達成は5割未満	③その他	事業全体の運用開始が年度末となったことから、運用期間が一定程度経過したあとの2023年度に利用企業のアンケートを実施し計測する予定。			
														+ 50	+ 10	+ 10	+ 70	+ 50						
									0	-	-													
									+ 0	-	-	+ 0	+ 0											

no	交付対象事業名	事業期間	事業概要	交付金額 (千円)	重要業績評価指標(KPI)										達成度合い			今後の 事業展開	
					名称	単位	当初値 (事業開始時)	2022年度 (R4年度)	2023年度 (R5年度)	2024年度 (R6年度)	増分の累計	事業開始から2022年度まで (事業開始からR4年度まで) (R5.3時点)			目標値 (R4増分まで累計) に対する 実績値 (R4増分まで累計) の達成度合い	目標 未達理由	(目標値未達の場合のみ)		
								交付決定額	目標値	目標値		目標値	目標値(R4増分まで累計)	左で「①外的 要因」を選択 した場合、そ の内容			左の具体的な内容		
								実績額	実績値	実績値		実績値	実績値(増分累計)						実績値(R4増分まで累計)
									実績値(R4増分)	実績値(R5増分)		実績値(R6増分)	実績値(増分累計)						
2	窯業技術センターDX推進事業	R4	佐賀県窯業技術センターは、地域に開かれた技術拠点として、県内窯業界の発展と振興のため、研究開発、技術支援、事業化支援、人材育成等に取り組んでいる研究機関である。本事業では、窯業技術センターが業務として実施している各種技術支援メニュー(技術相談、技術指導、試験機器利用、セミナー、講習会等)へのデジタル実装を行い、地域企業の商品開発や人材育成の効率化、スピードアップに寄与する。 ＜実装の内容＞ 〔試験機器の利用〕 ・試験機器操作法の研修、個別指導等のオンライン実施 ・オンライン立会い型依頼試験、試験状況のモニタリングサービスの実施。 ・オンラインでの依頼試験結果報告 ⇒Web会議システム、動画配信サービス等を活用 〔講習会・セミナー等〕 ・講習会、セミナーのオンライン実施、アーカイブ配信。 ⇒Web会議システム、動画配信サービス等を活用 〔技術相談・技術指導〕 ・オンラインによる技術相談、技術指導の実施、企業PCへの遠隔操作による製品設計指導。 ⇒Web会議システム、リモート操作ソフトウェアを活用	7,075	KPI①	オンラインを活用した試験機器の利用数	件	0	10	40	100			①目標値を達成					
									+ 10	+ 30	+ 60	+ 100	+ 10						
									11	-	-								
									+ 11	-	-	+ 11	+ 11						
				5,416	KPI②	セミナー、研修会等のオンラインでの受講者数	人	0	30	150	350			①目標値を達成					
									+ 30	+ 120	+ 200	+ 350	+ 30						
									48	-	-								
									+ 48	-	-	+ 48	+ 48						
				5,416	KPI③	オンラインでの技術相談、指導件数	件	0	10	80	180			①目標値を達成					
									+ 10	+ 70	+ 100	+ 180	+ 10						
									15	-	-								
									+ 15	-	-	+ 15	+ 15						
7,649	KPI④	窯業技術センターの支援サービスに対する満足度	%	0	50	60	80			①目標値を達成									
					+ 50	+ 10	+ 20	+ 80	+ 50										
					100	-	-												
					+ 100	-	-	+ 100	+ 100										
3	県土整備DX推進事業	R4	佐賀県では近年、4年連続の大雨特別警報や低平地における大規模な浸水被害等、災害が頻発化・激甚化しており、また、平時におけるインフラメンテナンス需要も増加している。 これにより、土木職員、関係事業者の業務は多様化・複雑化し、災害被災状況の情報発信や道路の復旧対応に影響を与えている。 こうしたことから、本事業では、佐賀県の土木部局(本庁、土木事務所等)において、汎用性に優れ、遠隔操作が可能なドローン機器、及びドローンの操縦者(※国土交通省の許可承認による飛行可能)を実装し、土木職員、関係事業者の業務の効率化・迅速化を図り、以下のような県民サービスの向上に寄与することを目的とする。 【期待される県民サービスの向上】 ① 災害被災状況の迅速な発信 ② 災害による通行止め道路の早期復旧 ③ 円滑な工事進捗・供用開始、 ④ わかりやすい鳥瞰映像・写真による情報発信等	7,649	KPI①	国土交通省許可を受けられるドローン操縦者数	人	0	38	76	114			①目標値を達成					
									+ 38	+ 38	+ 38	+ 114	+ 38						
									111	-	-								
									+ 111	-	-	+ 111	+ 111						
				7,649	KPI②	現場確認にかかる滞在・移動時間の短縮	時間	0	▲ 5	▲ 50	▲ 100			①目標値を達成					
									▲ 5	▲ 45	▲ 50	▲ 100	▲ 5						
									▲ 5	-	-								
									▲ 5	-	-	▲ 5	▲ 5						
				7,649	KPI③	県民へドローンを活用した効果的な情報提供数	件	0	5	25	50			①目標値を達成					
									+ 5	20	25	+ 50	+ 5						
									5	-	-								
									+ 5	-	-	+ 5	+ 5						

no	交付対象事業名	事業期間	事業概要	交付金額 (千円)	重要業績評価指標(KPI)							達成度合い				今後の 事業展開			
					名称	単位	当初値 (事業開始時)	2022年度 (R4年度)	2023年度 (R5年度)	2024年度 (R6年度)	増分の累計	事業開始から2022年度まで (事業開始からR4年度まで) (R5.3時点)							
								2022年度 (R4年度)	2023年度 (R5年度)	2024年度 (R6年度)		目標値 (R4増分まで累計)	実績値 (R4増分まで累計)	達成度合い					
								目標値 (R4増分)	目標値 (R5増分)	目標値 (R6増分)					目標値 (増分累計)		実績値 (増分累計)	実績値 (R4増分まで累計)	
交付決定額	実績額	実績値 (R4増分)	実績値 (R5増分)	実績値 (R6増分)	実績値 (増分累計)	実績値 (R4増分まで累計)	目標未達理由	左で「①外的要因」を選択した場合、その内容	左の具体的な内容										
4	SSPアスリート育成設備整備事業	R4	佐賀県の総合スポーツ施設であるSAGAサンライズパークにAIカメラを活用した分析機器を導入するとともに、デジタル技術を活用したトレーニング機器等を県内高校・競技団体が導入する際に支援することで、デジタル技術を活用した選手・指導者双方の人材育成に取り組む。 ①AI活用等育成設備整備事業 ・SAGAサンライズパークにAIカメラの導入 ・SAGAサンライズパークにAIによる適正スポーツ判定システム(digsports)の導入(2台) ・アスリート寮への高精度体成分分析装置(InBody)の導入(1基) ②AI活用等育成設備整備事業費補助 競技団体や県立・私立学校が行うデジタル機能が搭載されたトレーニング機器等の導入に対して、県が購入費を県が支援(補助)することで、県立学校・私立学校、競技団体にデジタル機能搭載のトレーニング機器の整備を促進する。	61,039	KPI①	回	0	27	135	180				④目標値の達成は5割未満	③その他		設置する機種等について、できるだけ使用者の希望に沿えるようヒアリング等を行うなど慎重に進めたこと、また、サッカー関係者や施設管理者などを含めてプロポーザル審査会を行った後、設置事業者が使用マニュアル作成や回線整備を行うことに時間を要したことから、導入が年度末になり、年度内に活用することが出来なかった。	①事業の継続(計画通りに事業を継続する)	
								+ 27	+ 108	+ 45	+ 180	+ 27							
								0	-	-									
								+ 0	-	-	+ 0	+ 0	+ 0						
					KPI②	人	0	288	1,152	1,152				④目標値の達成は5割未満	③その他		SAGAサンライズパークへ導入することで調整していたが、指定管理者との調整が難航し、一か所に固定しての運用はしないこととした。今後イベントごとにレンタルし、アスリート発掘に活用していきたい。		
								+ 288	+ 864	+ 0	+ 1,152	+ 288	+ 0						
5	デジタル活用ものづくり魅力発信事業	R4	佐賀県経済を支えるものづくり企業の最重要課題である人手不足の解消を図るため、デジタル技術を活用して、小中学生という早い段階から高校生までの各段階に応じた以下の3事業を実施することで、子どもたちのものづくりに対する興味・関心や魅力度を高め、ものづくりを志す子どもたちを増加させる。 ①バーチャル工場見学ツアー 感染症対策、安全性、衛生管理、情報管理等の観点から見学ができない県内ものづくり企業の工場内部を撮影し、バーチャルで工場見学ができる小中学生向けのコンテンツを制作して、ウェブ上で公開する。 ②バーチャル溶接体験 VR溶接シミュレーターを導入し、県内中学校を訪問して溶接体験教室を開催するほか、イベント出展等を通じて、幅広い子どもたちに溶接技術を体験してもらう。また、溶接技術の向上のため、高校や公設試験研究機関、職業訓練施設、県内ものづくり企業等への貸出も行う。 ③MONOSUGOBITO(モノスゴビト)制作 近い将来、佐賀県のものづくり産業界を担う中高生をターゲットとして、ものづくりに携わる「人」(MONOSUGOBITO)にフォーカスし、ものづくりのカッコよさや美しさ、楽しさ、やりがい等を伝える動画を制作して、ウェブ公開等を行う。	24,934	KPI①	人	0	1,250	12,500	23,750				④目標値の達成は5割未満	③その他		事業進捗が遅延しており、KPIを計測する余裕がなかったため。2023年度は、チラシ等でターゲット向けに広報するとともに、県内小学校での体験授業を複数回実施し、KPI達成を目指す。		
								+ 1,250	+ 11,250	+ 11,250	+ 23,750	+ 1,250							
								94	-	-									
								+ 94	-	-	+ 94	+ 94							
					KPI②	人	0	900	2,040	3,180				④目標値の達成は5割未満	③その他		委託事業先との契約が7月末となり、中学校への広報が遅れ、中学校の夏の授業計画に入れなかったため。また、広報活動不足であったため。2023年度は、チラシの配布や営業に加え、担当教諭に実機での体験をしていただくことで学校現場での認知拡大・普及を図る。		
								+ 900	+ 1,140	+ 1,140	+ 3,180	+ 900	+ 401						
5	デジタル活用ものづくり魅力発信事業	R4	佐賀県経済を支えるものづくり企業の最重要課題である人手不足の解消を図るため、デジタル技術を活用して、小中学生という早い段階から高校生までの各段階に応じた以下の3事業を実施することで、子どもたちのものづくりに対する興味・関心や魅力度を高め、ものづくりを志す子どもたちを増加させる。 ①バーチャル工場見学ツアー 感染症対策、安全性、衛生管理、情報管理等の観点から見学ができない県内ものづくり企業の工場内部を撮影し、バーチャルで工場見学ができる小中学生向けのコンテンツを制作して、ウェブ上で公開する。 ②バーチャル溶接体験 VR溶接シミュレーターを導入し、県内中学校を訪問して溶接体験教室を開催するほか、イベント出展等を通じて、幅広い子どもたちに溶接技術を体験してもらう。また、溶接技術の向上のため、高校や公設試験研究機関、職業訓練施設、県内ものづくり企業等への貸出も行う。 ③MONOSUGOBITO(モノスゴビト)制作 近い将来、佐賀県のものづくり産業界を担う中高生をターゲットとして、ものづくりに携わる「人」(MONOSUGOBITO)にフォーカスし、ものづくりのカッコよさや美しさ、楽しさ、やりがい等を伝える動画を制作して、ウェブ公開等を行う。	23,862	KPI③	回	0	400	9,200	18,000				①目標値を達成			①事業の継続(計画通りに事業を継続する)		
								+ 400	+ 8,800	+ 8,800	+ 18,000	+ 400							
								517,209	-	-									
								+ 517,209	-	-	+ 517,209	+ 517,209							
					KPI④	%	0	69	64	59				①目標値を達成					
								+ 69	▲ 5	▲ 5	+ 59	+ 69							
5	デジタル活用ものづくり魅力発信事業	R4	佐賀県経済を支えるものづくり企業の最重要課題である人手不足の解消を図るため、デジタル技術を活用して、小中学生という早い段階から高校生までの各段階に応じた以下の3事業を実施することで、子どもたちのものづくりに対する興味・関心や魅力度を高め、ものづくりを志す子どもたちを増加させる。 ①バーチャル工場見学ツアー 感染症対策、安全性、衛生管理、情報管理等の観点から見学ができない県内ものづくり企業の工場内部を撮影し、バーチャルで工場見学ができる小中学生向けのコンテンツを制作して、ウェブ上で公開する。 ②バーチャル溶接体験 VR溶接シミュレーターを導入し、県内中学校を訪問して溶接体験教室を開催するほか、イベント出展等を通じて、幅広い子どもたちに溶接技術を体験してもらう。また、溶接技術の向上のため、高校や公設試験研究機関、職業訓練施設、県内ものづくり企業等への貸出も行う。 ③MONOSUGOBITO(モノスゴビト)制作 近い将来、佐賀県のものづくり産業界を担う中高生をターゲットとして、ものづくりに携わる「人」(MONOSUGOBITO)にフォーカスし、ものづくりのカッコよさや美しさ、楽しさ、やりがい等を伝える動画を制作して、ウェブ公開等を行う。	23,862	KPI⑤	%	0	53	55	57				①目標値を達成					
								+ 53	+ 2	+ 2	+ 57	+ 53							
								55.1	-	-									
								+ 55.1	-	-	+ 55.1	+ 55.1							

no	交付対象事業名	事業期間	事業概要	交付金額 (千円)	重要業績評価指標(KPI)					達成度合い				今後の 事業展開			
					名称	単位	当初値 (事業開始時)	2022年度 (R4年度)	2023年度 (R5年度)	2024年度 (R6年度)	増分の累計	事業開始から2022年度まで (事業開始からR4年度まで) (R5.3時点)					
								2022年度 (R4年度)	2023年度 (R5年度)	2024年度 (R6年度)		目標値 (R4増分まで累計)	(目標値未達の場合のみ)				
								目標値 (R4増分)	目標値 (R5増分)	目標値 (R6増分)			目標 未達理由		左で「①外的 要因」を選択 した場合、そ の内容	左の具体的な内容	
実績額	実績値	実績値	実績値	実績値 (R4増分)	実績値 (R5増分)	実績値 (R6増分)	実績値 (増分累計)	実績値 (R4増分まで累計)									
6	県産品の情報発信拠点におけるテストマーケティング機能強化事業	R4	<p>県産品情報発信拠点「sagair」及び「SAGAMADO」にAIカメラ連動レジ等のデジタル技術を実装することによりテストマーケティング機能を強化し、県産品の各事業者へフィードバックすることで県産品の販売促進につなげる。</p> <p>【sagair、SAGAMADOでの取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> データ連携可能なAIカメラ、レジ及びデータ連携システムの導入 (⇒顧客属性と購買行動の関係等を商品毎に分析できるようにする) デジタルサイネージの導入 (⇒データ分析に基づき、ターゲット客にあった商品情報を発信できるようにする) 専門家によるデータ評価、商品改善・販売戦略等の助言 (⇒個々の県内事業者へフィードバック ※県内事業者が活用しやすい内容でフィードバック) 	17,538	KPI①	県内事業者へのフィードバック件数	件	0	50	100	100			①目標値を達成			
									+ 50	+ 50	+ 0	+ 100	+ 50				
									54	-	-						
						+ 54	-	-	+ 54	+ 54							
					KPI②	商品のブラッシュアップ事業への応募事業者数	事業者	0	10	15	20			①目標値を達成			
									+ 10	+ 5	+ 5	+ 20	+ 10				
									10	-	-						
						+ 10	-	-	+ 10	+ 10							
					KPI③	商品開発・改善、新たな販路開拓に至った商品数	品目	0	0	5	5			④目標値の達成は5割未満	③その他		KPI③に係る商品開発・改善や新たな販路開拓については、2022年度のフィードバックを踏まえて県内事業者が2023年度以降に実施するものであり、その実績を2023年度以降に計測することとしているため。
+ 0	+ 5	+ 0	+ 5	+ 0													
0	-	-															
	+ 0	-	-	+ 0	+ 0												
7	行政デジタル化推進事業	R4	<p>県HPIにAIチャットボットを設置することで、県民がいつでも簡単に県政情報を入手できる環境を整備し、県民利便性の向上及び職員の業務効率化を図る。</p> <p>県民からの問い合わせに24時間対応するため、佐賀県ホームページに設置するAIチャットボットを多言語化、音声認識対応とすることで、日本語での対応が難しい外国人や、キーボード入力に困難な方にも、県からの情報を「いつでも」「どこでも」入手することが可能となる環境を整備する。</p> <p>本事業の実施により、時間外の問い合わせに対応するとともに、問合せの内容や回答への満足度を把握し、それに対応することで、より一層の県民満足度の向上と職員の業務軽減を図ることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> AIチャットボット機能を配置する場所: 佐賀県ホームページ 提供する情報(区分): 暮らし・子育て、健康・福祉、仕事・産業、観光・文化・スポーツ、県土・まちづくり、県政情報 多言語化する言語: 英語、中国語、韓国語、タイ語 音声入力機能付加 広報: 観光地等でQRコードを配布等 	4,537	KPI①	AIチャットボット利用者数	回	0	36,000	42,000	48,000			①目標値を達成			
									+ 36,000	+ 6,000	+ 6,000	+ 48,000	+ 36,000				
									104,745	-	-						
						+ 104,745	-	-	+ 104,745	+ 104,745							
					KPI②	AIチャットボット利用者数(外国人)	言語	0	3	4	5			①目標値を達成			
									+ 3	+ 1	1	+ 5	+ 3				
									3	-	-						
						+ 3	-	-	+ 3	+ 3							
					KPI③	回答満足度	%	0	70	80	85			①目標値を達成			
+ 70	+ 10	5	+ 85	+ 70													
98	-	-															
	+ 98	-	-	+ 98	+ 98												

